

## 国立国会図書館中期総括評価の枠組み

国立国会図書館は、国立国会図書館中期ビジョン「ユニバーサル・アクセス 2020」（以下「中期ビジョン」という。）及び「国立国会図書館 活動目標 2017-2020」（以下「活動目標」という。）を掲げ、活動目標の達成状況を年度ごとに評価してきた。

令和 2(2020)年度は、中期ビジョン及び活動目標の最終年度に当たることを踏まえ、平成 29(2017)年度から令和 2（2020）年度までの 4 か年の取組を総括的に評価する（中期総括評価）。

活動目標等の実現の度合いを数値に基づいて客観的に評価するために設定したのが、「評価指標」と「参考指標」である。中期総括評価においては、期間中の評価指標の達成状況を評語で評価するとともに、参考指標の動向を記載する。

### <評価指標>

自律的に成果を挙げることが可能な業務や、利用者へのサービスの提供に係る日数等を対象とする指標で、近年の実績値とその増減の傾向、事業の規模・性質等を踏まえ、年度当初に数値目標を設定し、達成に努める。評価指標の単年度の目標値は、指標を次の三つに類型化した上で、それぞれの基準に基づいて設定した。中期総括評価においては、各年度の当初に設定した数値目標を達成した回数及び期間を通じての推移を踏まえて、標語で評価する。

#### ① 3 か年平均基準型

サービスレベルを維持するため、直近 3 年の実績値（特殊な事情のある年度を除く。）の平均値を基準とし、基準のプラスマイナス 10 パーセント以内を目標値として設定するもの。複数年の取組を評価する場合、移動平均を基準とすることになるため、目標値が漸減する場合がある。

#### ② 前年度基準型

前年度以上のサービスレベルを目指すため、前年度の実績値を基準とし、その値を目標値として設定するもの

#### ③ 既定目標値型

契約・協定その他の取決めにより定める値（既定の値）を目標値として設定するもの

### <参考指標>

他律的な側面が強く対外的な要因に左右されやすいため目標値を設定しないが、当館の活動の動向を把握するために用いる。中期総括評価においては、令和 2（2020）年度の実績値について、平成 28（2016）年度比プラスマイナス 10%以内を「水準維持」とし、10%を超過した場合は増減率を記載する。

活動目標ごとの定性的な評価は、評価指標の達成状況及び参考指標の動向に加え、期間中に実施した重点事業の成果等を総合的に勘案し、文言で評価する。また、単年度の大きな変動については適宜補足説明を加える。

なお、中期総括評価の枠組みの策定に当たっては、「国立国会図書館活動実績評価に関する有識者会議」において聴取した、活動実績評価の手法等についての意見を反映した。

## 活動目標に関する中期総括評価

基本的役割：国会活動の補佐	
活動目標 1	国政課題に関する職員の専門的知見と豊富な情報資源に基づく、信頼性の高い調査・分析と迅速かつ的確な情報提供の一層の強化を通じ、国権の最高機関である国会の活動を十全に補佐する。

<b>活動目標 1 (1)</b>	<b>調査サービスの拡充強化</b>					
① 国会議員からの依頼に対し、客観的な調査・分析に基づき、国政審議に資する的確な回答を提供する。そのために、国政課題を予測した調査研究に取り組み、調査分析能力を強化するとともに、その成果を刊行物等として取りまとめ、調査回答に活用する。回答に当たっては、特に、調査報告の作成、面談・会議における説明等、専門的知見に基づいた調査回答を充実させる。国立国会図書館の調査研究の特色である諸外国の制度、政策及び立法の調査並びに分野横断的な調査の一層の充実を図る。調査研究の成果を国会議員に紹介するため、政策セミナーを開催する。						
② 国政課題の調査に資するため、所蔵資料のほか、データベースその他の電子情報も含む広範な情報資源の基盤を構築し、これらを活用して迅速かつ的確に資料・情報を国会議員及び国会関係者に対して提供する。						
<b>評価</b>						
<b>指標</b>						
指標名	達成状況(指標 類型)/動向	令和 2 年度	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度	(平成 28 年度)
1 依頼調査の処理件数			36,402 件	37,897 件	36,224 件	39,212 件
2 国政課題に関する調査研究の総件数 <span style="color: yellow;">◇</span> 1	(3 か年平均基準型)		319 件 (達成)	323 件 (達成)	328 件 (達成)	325 件
3 政策セミナーの開催回数 <span style="color: yellow;">◇</span>	(3 か年平均基準型)		15 回 (達成)	16 回 (達成)	16 回 (達成)	19 回
4 国会議員の調査サービスの利用率 2			87%	90%	86%	88%

<b>活動目標 1 (2)</b>	<b>外部機関との連携の強化による調査の充実</b>					
① 国内外の大学や調査研究機関等との連携を強化し、幅広い学術的知見の積極的な吸収を図り、調査を充実させる。国の基本的な政策課題や科学技術に関する政策課題については、外部専門家の知見も活用して、各種調査プロジェクトを実施する。						
② 世界各国の議会図書館等と交流を深め、世界的な国会サービスの動向を把握して調査能力の向上に役立てるとともに、国際的な議会図書館の発展に寄与する。						
<b>評価</b>						

\* 指標名末尾の ◇ は評価指標を、【累積】は累積値である参考指標をそれぞれ意味する。

<sup>1</sup> 刊行物『レファレンス』『調査と情報-ISSUE BRIEF-』『外国の立法』等のほか、『調査資料』として刊行される総合調査、科学技術に関する調査プロジェクト、外国憲法の翻訳等

<sup>2</sup> 年度末までの議員有資格者のうち、年度内に調査を依頼したことのある議員の割合

活動目標 1 (3)		国会発生情報への国民のアクセスの整備					
<p>関係機関と連携・協力して、国会会議録を始めとする国会の活動から日々生み出される国会発生情報に国民が容易にアクセスできるよう、資料・情報の充実とアクセシビリティの向上に取り組み、「国会と国民をつなぐ」役割の一翼を担う。</p>							
評価							
指標							
指標名	達成状況(指標 類型)/動向	令和 2 年度	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度	(平成 28 年度)	
1 データへのアクセス数 (インターネット経由)							
①	国会会議録検索システム <sup>3</sup> 上段：旧システム 下段：新システム	-	-	(5,274,299 件) (2,449,633 件)	(7,707,153 件) -	(8,913,951 件) -	(8,815,923 件) -
②	国会関連情報 <sup>4</sup>			4,651,909 件	4,196,279 件	4,333,833 件	4,075,359 件

<sup>3</sup> 国会会議録検索システムは、令和元年 12 月のシステムリニューアルに伴いアクセス数のカウント方法が変更された。

<sup>4</sup> 採取対象は『レファレンス』、『調査と情報－ISSUE BRIEF－』、『外国の立法』及び『調査資料』

基本的役割：資料・情報の収集・保存

活動目標 2	我が国の唯一の国立図書館として、将来にわたるアクセスを保証するため、出版物を中心に国内外の資料・情報を広く収集・保存するとともに、関係機関と連携・協力して多様な情報資源及びそれを保存する基盤の構築に取り組む。
-----------	--

活動目標 2 (1)	デジタルアーカイブの推進
------------	--------------

- ① 所蔵資料のデジタル化を一層推進する。国立国会図書館が未所蔵であって他機関が所蔵する資料のデジタルデータの収集にも取り組む。本文検索を目的とする画像データのテキストデータ化を段階的に進める。
- ② 法律等の規定により国立国会図書館への提供が免除されており、現在、収集の対象となっていない有償等の電子書籍・電子雑誌を収集・保存する仕組みを整備し、オンライン資料の収集制度を十全なものとする。また、国等の公的機関については法律に基づき、民間機関については許諾により、ウェブサイトの収集・保存の拡充を図る。特に、災害の記録等の公共性の高いサイトや「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会」等の時代を記録するサイトを収集・保存する。
- ③ 国の機関等が保有する多様な情報資源の利活用の促進と安定的な利用の保証を図るため、国立情報学研究所や科学技術振興機構を始めとする各機関との連携・協力により、各種データの標準化等を推進し、分野横断統合ポータル構築に取り組む。

評価

指標

指標名	達成状況(指標 類型)/動向	令和 2 年度	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度	(平成 28 年度)
1 所蔵資料のデジタル化実施数 (紙資料・マイクロ資料)			1,610,715 コマ	1,545,617 コマ	1,511,482 コマ	1,584,939 コマ
2 インターネット資料の収集 新規データ数						
① 電子書籍・電子雑誌 <sup>5</sup>	(3 か年平均基準型)		82,725 点 (達成)	74,619 点 (達成)	77,133 点 (達成)	69,945 点
② ウェブサイト・アーカイブ (WARP) <sup>6</sup>	(3 か年平均基準型)		19,104 件 (達成)	18,533 件 (達成)	17,669 件 (達成)	18,957 件
3 東日本大震災アーカイブ 新規 メタデータ数 <sup>6</sup>			167,815 件	421,490 件	278,476 件	140,902 件

<sup>5</sup> 平成 29 年度及び平成 30 年度実績値は、平成 28 年度末をもって終了した国立情報学研究所の「電子図書館事業」(NII-ELS) から取得したデータ(平成 29 年度 562,377 点、平成 30 年度 35,554 点)を除外した点数

<sup>6</sup> 国立国会図書館作成データと他機関から収集したデータの合計

活動目標 2 (2)		資料・情報の収集と書誌情報の作成・提供					
① 国内の刊行物について、納本制度による網羅的収集に向けた取組を一層推進する。外国の刊行物については、主として国会サービスに必要な資料や科学技術関係資料、日本関係資料を選択的に収集する。貴重な文化的資産や東日本大震災の記録、将来に伝承すべき歴史的記録となる資料等の様々な資料・情報の収集を今後も継続して行う。							
② 国内外の関係機関と協力し、所蔵資料の書誌作成及び提供を着実にを行うとともに、書誌情報の利活用促進を図る。また、紙媒体の資料と電子情報の書誌を一元的に扱える仕組みを構築する。							
評価							
指標							
指標名	達成状況(指標 類型)/動向	令和 2 年度	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度	(平成 28 年度)	
資料・情報の収集							
1 納入率							
①	図書 <sup>7</sup> 8	(前年度基準型)		99% (達成)	99% (達成)	99% (達成)	99%
②	逐次刊行物 <sup>9</sup>	(前年度基準型)		89% (達成)	88% (達成)	88% (未達成)	92%
③	官庁出版物(国) <sup>7</sup> 10			99%	99%	99%	99%
④	官庁出版物(地方) <sup>7</sup> 11			95%	95%	94%	93%
2 納本制度の認知度(利用者アンケート) <sup>12</sup>		-		72%	73%	(79%)	(83%)
3 国内出版物受入資料点数 <sup>13</sup>				616,393 点	625,732 点	648,282 点	639,303 点
書誌情報の作成・提供と利活用							
4 東京本館で受け入れた和図書の受入れから書誌データ校了までに要した日数 <sup>14</sup>		(3 年平均基準型)		17.2 日 (未達成)	13.6 日 (達成)	17.6 日 (達成)	14.4 日
5 東京本館で受け入れた和図書(録音・映像資料)の受入れから書誌データ校了までに要した日数 <sup>14</sup>		(3 年平均基準型)		13.3 日 (達成)	14.9 日 (達成)	19.7 日 (未達成)	16.6 日
6 索引誌当該号の受入れから雑誌記事索引のデータ校了までに要した日数 <sup>14</sup>		(3 年平均基準型)		12.7 日 (達成)	12.1 日 (達成)	12.6 日 (達成)	13.0 日
7 NDL-Bib の書誌ダウンロード件数 <sup>15</sup>		-		254,423 件	272,746 件	-	-
8 国立国会図書館オンラインの書誌ダウンロード件数 <sup>15</sup>		-		190,476 件	204,976 件	-	-
9 Web NDL Authorities のトップページのアクセス数 <sup>16</sup>				526,587 件	464,208 件	1,008,329 件	446,151 件
10 海外への書誌情報の提供							
①	OCLC への書誌データ提供数(典拠データ提供数を除く。) <sup>17</sup>			615,018 件	609,177 件	748,099 件	666,453 件

<sup>7</sup> 各年度の納入率は、前年に発行された出版物を対象として算出した。

<sup>8</sup> 日販、トーハン及び地方・小出版流通センターの取り扱う図書のデータを基に算出した。

<sup>9</sup> 平成 28 年度から令和元年度については、当該年版の『雑誌新聞総かたるぐ』(メディア・リサーチ・センター)を基に、前年度に継続刊行中の資料を対象として算出した。(一部官庁出版物も含む。)

<sup>10</sup> 国の諸機関の出版物(図書・逐次刊行物)を対象とし、国の諸機関(一部を除く。)の図書館の所蔵データを基に算出した。

<sup>11</sup> 各都道府県又は各政令指定都市の出版物(図書・逐次刊行物)を対象とし、各都道府県、各政令指定都市(一部を除く。)の図書館の所蔵データを基に算出した。

<sup>12</sup> 認知度は、利用者アンケートにおいて「知っている」と回答した人の割合。平成 30 年度から来館利用者アンケート及び遠隔利用者アンケートを統合した一般利用者アンケートを実施。平成 29 年度実績値には来館利用者アンケート(東京本館)の結果を、平成 28 年度実績値には遠隔利用者アンケート(個人)の結果を参考値として記載した。標本数は、平成 28 年度 1,091 件、平成 29 年度 1,889 件、平成 30 年度 4,592 件、令和元年度 3,466 件、令和 2 年度●件

<sup>13</sup> 納入、購入及び寄贈の合計

<sup>14</sup> 処理件数のうち、80%以上を提供した日数

<sup>15</sup> 平成 30 年 1 月のシステムリニューアルに伴い、国立国会図書館オンラインと NDL-Bib の提供を開始した。

<sup>16</sup> 平成 29 年 12 月及び平成 30 年 1 月に大量アクセスがあった(512,222 件)。

<sup>17</sup> OCLC は、国際的書誌ユーティリティである Online Computer Library Center の略称

②	VIAF への典拠データ提供数 18 19			41,255 件	77,535 件	111,749 件	65,219 件
---	--------------------------	--	--	----------	----------	-----------	----------

活動目標 2 (3)	資料・情報の保存
① 所蔵資料の増加に対応し、関西館の書庫の増築を着実に推進する。	
② 所蔵資料の長期的保存のため、継続して劣化対策を行う。所蔵する様々なデジタル形式の資料・情報については、永く保存し、長期的な利用を保証するための具体策を策定し、保存対策を講じる。さらに、恒久的保存基盤の確立に向けた技術的調査研究を行う。	
③ 資料保存に関して国内外の図書館のほか文化的資産を収蔵する機関等とも連携・協力し、情報共有・技術支援を進める。また、地震等により被災した図書館等を支援する。	
評価	

<sup>18</sup> VIAF は、Virtual International Authority File (バーチャル国際典拠ファイル) の略称

<sup>19</sup> 平成 29 年 4 月に『日本十進分類法新訂 10 版』を適用するため、典拠データの一括変換を行い、VIAF への提供を行った。

基本的役割：情報資源の利用提供

活動目標 3	多様な利用者が、必要な情報に的確かつ効率的にアクセスできるよう、システム、施設を整備し、サービスの充実に取り組む。
-----------	---

活動目標 3 (1)		利用環境の整備					
① 「国立国会図書館サーチ」、「NDL-OPAC」、「国立国会図書館デジタルコレクション」、「リサーチ・ナビ」等の機能・役割を整理し、国立国会図書館と他機関が提供する情報資源を統合的に利用できる、利便性の高い新たな統合的オンラインサービスを実現する。							
② 利用者がよりの確かつ効率的に情報資源を利用できるよう、遠隔利用サービス、館内利用サービス、図書館等を経由したサービスの利用環境を向上させる。							
③ 国会活動や国民の知的活動を支える基盤としての機能を十全に果たせるよう、施設の整備に関する将来計画を策定する。							
評価							
指標							
指標名	達成状況(指標 類型)/動向	令和 2 年度	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度	(平成 28 年度)	
1 国立国会図書館オンライン							
①	トップページのアクセス数 15	-	5,635,957 件	5,594,525 件	-	-	
②	満足度（利用者アンケート） 20	-	86%	83%	(85%)	(90%)	
2 国立国会図書館サーチ							
①	新規データ数 <sup>21</sup>		16,959,338 件	6,007,958 件	4,290,499 件	3,338,418 件	
②	連携機関数【累積】 <sup>22</sup>		79 機関	74 機関	73 機関	72 機関	
③	ページビュー数		144,814,052 件	149,949,616 件	118,498,682 件	121,012,134 件	
④	外部提供インタフェース経由の検索件数		93,742,387 件	142,757,764 件	67,541,578 件	82,611,523 件	
⑤	満足度（利用者アンケート） <sup>23</sup>	-	85%	84%	-	(88%)	
3 利用者登録							
①	利用者登録数		135,265 人	150,096 人	127,798 人	120,720 人	
②	うち、インターネット限定登録数 <sup>24</sup>	-	45,011 人	45,094 人	-	-	

<sup>20</sup> 国立国会図書館オンラインの満足度を尋ねた設問に対して、「満足」「どちらかといえば満足」と回答した人の割合。平成 30 年度から来館利用者アンケート及び遠隔利用者アンケートを統合した一般利用者アンケートを実施。平成 29 年度実績値には来館利用者アンケート（東京本館）における NDL-OPAC の満足度の結果を、平成 28 年度実績値には遠隔利用者アンケート（個人）の NDL-OPAC の満足度の結果を参考値として記載した。標本数は、平成 28 年度 922 件、平成 29 年度 1,551 件、平成 30 年度 4,103 件、令和元年度 3,307 件、令和 2 年度●件

<sup>21</sup> 令和元年 6 月に、国立情報学研究所の CiNii Books との連携切替えて 12,195,990 件の新規データが投入された。

<sup>22</sup> 国立国会図書館サーチが検索対象としているデータベースを運営する組織・機関の数

<sup>23</sup> 国立国会図書館サーチの全体としての満足度を尋ねた設問に対して、「満足」「どちらかといえば満足」と回答した人の割合。平成 30 年度から来館利用者アンケート及び遠隔利用者アンケートを統合した一般利用者アンケートを実施。平成 28 年度実績値には遠隔利用者アンケート（個人）の結果を参考値として記載した。標本数は、平成 28 年度 859 件、平成 30 年度 3,952 件、令和元年度 2,938 件、令和 2 年度●件

<sup>24</sup> 令和元年度から新規に指標とした。平成 30 年 1 月のシステムリニューアルに伴い、インターネット限定登録利用者制度を開始した。

4 遠隔複写						
①	複写の処理件数 25		287,433 件	285,409 件	262,066 件	253,653 件
②	紙・マイクロ資料からの複写枚数		1,799,298 枚	1,817,331 枚	1,618,537 枚	1,611,539 枚
③	電子情報からのプリントアウト枚数		329,827 枚	296,741 枚	274,746 枚	255,373 枚
④	外国の図書館等からの複写申込件数 26		2,731 件	2,322 件	2,096 件	2,424 件
⑤	インターネット経由申込複写について、受理から発送までに要した日数 <sup>25</sup> 14 27	(既定目標値型)	4.5 日 (達成)	5.1 日 (未達成)	3.9 日 (達成)	4.0 日
⑥	複写の満足度（利用者アンケート） 28	-	86%	84%	-	-
5 館内利用						
①	来館者数 29		696,392 人	791,370 人	791,710 人	756,372 人
②	閲覧点数 30		1,978,504 点	2,175,710 点	2,304,035 点	2,322,228 点
③	複写の処理件数		1,200,075 件	1,320,116 件	1,329,172 件	1,294,371 件
④	紙・マイクロ資料からの複写枚数		5,154,909 枚	5,870,721 枚	6,788,793 枚	6,936,020 枚
⑤	電子情報からのプリントアウト枚数		2,767,359 枚	3,024,671 枚	2,849,988 枚	2,621,413 枚
⑥	複写の満足度（利用者アンケート） 31	-	82%	79%	-	-
6 図書館等への貸出し						
①	貸出点数 32		15,456 点	16,760 点	16,856 点	19,507 点
②	うち、外国の図書館等への貸出点数 33		769 点	374 点	378 点	371 点
③	受理から発送（又は謝絶）までに要した日数 <sup>27</sup> 14 34	(既定目標値型)	2.5 日 (達成)	2.6 日 (達成)	2.5 日 (達成)	2.3 日
7 レファレンス						
①	文書		9,060 件	8,802 件	5,711 件	6,509 件
②	うち、複写用記事掲載箇所調査 35	-	4,105 件	3,412 件	-	-
③	電話		21,783 件	24,986 件	24,667 件	26,756 件
④	口頭 36		704,281 件	834,319 件	859,324 件	786,204 件
⑤	図書館経由文書レファレンスについて、文書受理から回答までに要した日数 <sup>37</sup> 14 37	(前年度基準型)	7.6 日 (未達成)	6.9 日 (達成)	8.1 日 (達成)	10.0 日
8	利用者サービス全般満足度（利用者アンケート） 38	-	90%	91%	(96%)	(87%)

<sup>25</sup> 遠隔複写の処理件数は、全利用者種別（個人、国内各種図書館、各国の図書館）を含むが、利用者種別ごとには統計値を採取していない。

<sup>26</sup> 利用者種別ごとの処理件数は採取していないため、申込件数を指標とした。

<sup>27</sup> 休館日を除く。

<sup>28</sup> 平成 30 年度から新規に指標とした。利用者アンケートにおいて、遠隔複写サービスの満足度を尋ねた設問に対して、「満足」「どちらかといえば満足」と回答した人の割合。標本数は、平成 30 年度 1,528 件、令和元年度 1,533 件、令和 2 年度●件

<sup>29</sup> 東京本館・関西館については、参観・見学者、催物参加者及び東京本館新館 1 階展示室・関西館大会議室等の閲覧室以外で開催した展示会への入場者を含む。

<sup>30</sup> 紙資料、マイクロ資料、パッケージ系電子出版物等、書庫からの出納点数

<sup>31</sup> 平成 30 年度から新規に指標とした。利用者アンケートにおいて、東京本館の複写サービスの満足度を尋ねた設問に対して、「満足」「どちらかといえば満足」と回答した人の割合。標本数は、平成 30 年度 2,300 件、令和元年度 1,542 件、令和 2 年度●件

<sup>32</sup> 学校図書館セット貸出し及び展示会出品資料の貸出しを含む。

<sup>33</sup> 展示会出品資料の貸出しを含む。

<sup>34</sup> 東京本館及び関西館については休館日及び土曜日を、国際子ども図書館については日曜日、祝日及び東京本館への移送に要する日数を除く。

<sup>35</sup> 令和元年度から新規に指標とした。平成 30 年 1 月から、複写用記事掲載箇所調査（個人の登録利用者を対象に、複写のために特定の記事や論文の掲載箇所（巻号等）を調査するサービス）を開始した。

<sup>36</sup> 口頭レファレンスのうち、利用案内、機器操作支援、検索援助等は●件（令和 2 年度）

<sup>37</sup> 休館日を含む。

<sup>38</sup> 利用者アンケートにおいて「満足」「どちらかといえば満足」と回答した人の割合。平成 30 年度から来館利用者アンケート及び遠隔利用者アンケートを統合した一般利用者アンケートを実施。平成 29 年度実績値には来館利用者アンケート（東京本館）の結果を、平成 28 年度実績値には遠隔利用者アンケート（個人）の結果を参考値として記載した。標本数は、平成 28 年度 1,042 件、平成 29



活動目標 3 (2)		デジタル情報資源の利活用の促進					
「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の普及と対象図書館の拡大に向け、関係者と連携・協力して取り組む。また、デジタル化資料や収集・保存したウェブサイト等の利活用を促進するとともに、インターネットによる提供を着実に拡充する。							
評価							
指標							
指標名	達成状況(指標 類型)/動向	令和 2 年度	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度	(平成 28 年度)	
1 図書館向けデジタル化資料送信サービス							
①	対象資料数【累積】		1,519,386 点	1,510,004 点	1,512,509 点	1,499,332 点	
②	参加館数【累積】		1,179 館	1,048 館	908 館	809 館	
③	参加館からの閲覧件数 <sup>39</sup>		311,645 件	291,606 件	264,876 件	191,869 件	
④	参加館からの複写件数 <sup>40</sup>		129,831 件	128,575 件	116,938 件	90,485 件	
2 国立国会図書館デジタルコレクション							
①	累積データ数【累積】 <sup>41</sup>		4,071,774 点	3,929,535 点	3,778,853 点	3,111,485 点	
②	うち、インターネット提供数【累積】 <sup>41</sup>		1,639,277 点	1,574,119 点	1,485,995 点	864,761 点	
③	アクセス数 <sup>42</sup>	-	81,947,435 件	66,234,507 件	56,137,662 件	(103,062,292 件)	
④	うち、インターネット経由のアクセス数 <sup>42</sup>	-	78,639,963 件	59,019,095 件	49,635,270 件	(100,084,913 件)	
3 ウェブサイト・アーカイブ (WARP)							
①	インターネット提供分の累積データ数【累積】		152,211 件	134,985 件	118,853 件	103,598 件	
②	インターネット経由のアクセス数 <sup>43</sup>	-	35,304,393 件	(434,608 件)	(444,618 件)	(370,802 件)	

活動目標 3 (3)		障害者サービスの向上					
障害者の情報アクセスの改善を図るため、システム及び利用環境の整備や図書館との協力を進めるとともに、学術文献のテキストデータ作成などについて、関係機関との連携により実施する。							
評価							
指標							
指標名	達成状況(指標 類型)/動向	令和 2 年度	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度	(平成 28 年度)	
1 視覚障害者等用データ送信事業							
①	新規データ数 <sup>39</sup>	(3 年平均基準型)	4,432 件 (未達成)	5,096 件 (達成)	4,153 件 (達成)	6,882 件	
②	送信承認館数【累積】		133 館	108 館	90 館	77 館	
2 視覚障害者等用データの登録利用者(個人)及び図書館等からのアクセス数							
			527,206 件	432,521 件	327,130 件	296,494 件	

年度 1,704 件、平成 30 年度 4,592 件、令和元年度 3,466 件、令和 2 年度●件

<sup>39</sup> 令和元年度から新規に指標とした。参加館の閲覧用端末において当該資料の利用があった回数

<sup>40</sup> 令和元年度から新規に指標とした。参加館の複写用端末において当該資料の印刷用データが作成された回数

<sup>41</sup> 平成 29 年度以降の実績値は、平成 28 年度末をもって終了した国立情報学研究所の「電子図書館事業」(NII-ELS) から取得したオンライン資料のデータを含む(取得点数は、平成 29 年度 562,377 点、平成 30 年度 35,554 点)。

<sup>42</sup> 平成 29 年 5 月に、より利用者の利用実態に近いアクセス数を求めるため、デジタルコレクションのアクセスログを見直し、アクセス統計から除くクローラ(主にロボット型検索エンジンの収集プログラム)を追加した。

<sup>43</sup> ウェブサイト・アーカイブ(WARP)は、システム改修に伴い、令和元年度からアクセス数のカウント方法が変更された。

活動目標 3 (4)		各種図書館との協力事業の推進				
国立国会図書館の情報資源やサービスが、国内外の各種図書館の業務やサービスの向上に役立つよう、研修等の協力事業を実施する。また、図書館関連分野の動向やレファレンス等に関する有用な情報を、インターネット等を通じて発信する。						
評価						
指標						
指標名	達成状況(指標 類型)/動向	令和 2 年度	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度	(平成 28 年度)
1 図書館員向け研修 (集合研修/遠隔研修/講師派遣)						
①	実施件数 (集合研修/遠隔研修) <sup>45</sup>	(3 か年平均基準型)	37 件 (達成)	36 件 (達成)	45 件 (達成)	41 件
②	実施件数 (講師派遣)		52 件	43 件	48 件	57 件
③	満足度 (集合研修/講師派遣) 44 45		98%	98%	98%	98%
2 リサーチ・ナビ						
①	(調べ案内) 累積記事数 【累積】		1,312 件	1,306 件	1,319 件	1,327 件
②	(調べ案内) 更新回数 (一記事あたり) <sup>46</sup>	(3 か年平均基準型)	1.09 回	-	-	-
③	ページビュー数		62,141,139 件	63,399,826 件	65,621,172 件	50,933,238 件
3 レファレンス協同データベース						
①	参加館数【累積】		828 館	805 館	769 館	741 館
②	データへのアクセス数		44,127,620 件	36,453,534 件	53,096,119 件	41,433,637 件
4 図書館及び図書館情報学に関する情報提供						
①	カレントアウェアネス (季 刊誌及びメールマガジン) の記事数 <sup>47</sup>		149 件	138 件	140 件	142 件
②	カレントアウェアネス-R の 新規データ数		2,507 件	1,910 件	1,788 件	2,330 件
③	カレントアウェアネス・ポ ータルのデータへのアクセ ス数 <sup>48</sup>		10,906,965 件	7,124,543 件	7,642,510 件	11,335,124 件

<sup>44</sup> 参加者へのアンケートで「満足」「どちらかといえば満足」と回答した人の割合

<sup>45</sup> 遠隔研修については、平成 29 年度をもって受講登録を要する研修を終了した。平成 30 年 3 月 27 日から YouTube 国立国会図書館公式チャンネル上で講座を一般公開しており、受講者の満足度に関する指標は採取していない。

<sup>46</sup> 令和元年度から新規に指標とした。実績値は 1 年間の更新データ数を年度末の累積記事数で割って算出

<sup>47</sup> 季刊誌「カレントアウェアネス」及びメールマガジン「カレントアウェアネス-E」の記事数の合計

<sup>48</sup> 「カレントアウェアネス」、「カレントアウェアネス-E」、「カレントアウェアネス-R」等のデータへのアクセス数の合計

活動目標 3 (5)		図書館の役割や本の魅力を伝える活動の推進					
① 国立国会図書館が提供する情報資源と活動全般についての広報を強化し、幅広く関心を得られるよう展示会や講演会等を実施する。							
② 国際子ども図書館においては、特に子どもに対して本に親しむきっかけとなり、継続的な読書や身近な図書館の利用につながるサービスを提供する。また、関係機関と連携して子どもの読書活動の推進を支援するため、国内外の子どもの本と読書に関する情報を発信し、児童書や児童サービスに関する研修等を実施する。							
評価							
指標							
指標名	達成状況(指標 類型)/動向	令和 2 年度	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度	(平成 28 年度)	
1 国立国会図書館ホームページ							
①	データへのアクセス数		22,361,690 件	18,275,403 件	20,894,477 件	19,631,400 件	
②	うち、日本語以外のページのデータへのアクセス数		1,029,764 件	674,653 件	595,543 件	338,815 件	
③	うち、国際子ども図書館ホームページのデータへのアクセス数		2,684,397 件	2,196,791 件	2,366,421 件	2,496,325 件	
2 イベント							
①	開催回数◇	(3 か年平均基準型)	65 回 (未達成)	85 回 (達成)	69 回 (達成)	86 回	
②	うち、子ども読書活動推進イベントの開催回数◇	(3 か年平均基準型)	28 回 (達成)	30 回 (達成)	35 回 (達成)	29 回	
③	総参加者数		5,140 人	6,108 人	5,377 人	6,176 人	
④	うち、子ども読書活動推進イベントの総参加者数		1,496 人	1,721 人	1,854 人	1,648 人	
⑤	満足度 44		95%	97%	96%	94%	
3 展示会							
①	開催回数◇	(3 か年平均基準型)	6 回 (未達成)	9 回 (達成)	9 回 (達成)	8 回	
②	総入場者数		52,214 人	65,514 人	35,981 人	33,494 人	
③	満足度 44		96%	95%	95%	93%	
4 電子展示会のデータへのアクセス数							
5 見学者数							
			6,125 人	7,827 人	7,860 人	9,602 人	

障害者雇用の促進、働き方改革の推進など、昨今の社会的情勢に鑑み、国立国会図書館においても、働く意欲があり優れた能力を有する職員が、それぞれの能力を高め、十分に発揮すると同時に、この組織をこれまで以上に柔軟で多様性（ダイバーシティ）を備えた組織にしていかなければならない。

以上の観点を踏まえ、活動目標 1 から 3 までに加えて、「組織力」に関して総括的に評価する。

**基本的役割の遂行の視点・行動指針：「組織力」**

職員が館の使命と利用者の最大の満足を常に考えて、行動し、能力を発揮することが必要である。また、職員の能力が組織の中でいかされ、個々の能力の総和以上の力を発揮しなければならない。そのために能力開発と業務改善を進める。

<評価>